

●プログラム①「速攻！用途判定Ⅰ」の使用方法。 建物の用途の調べ方

事前準備 ※インターネットに接続されたPC・タブレット・スマホをご用意ください。

・以下の画面は、下記URLで参照できます。

http://消防設備設計検索.jp

1 サイト内でプログラムを選択

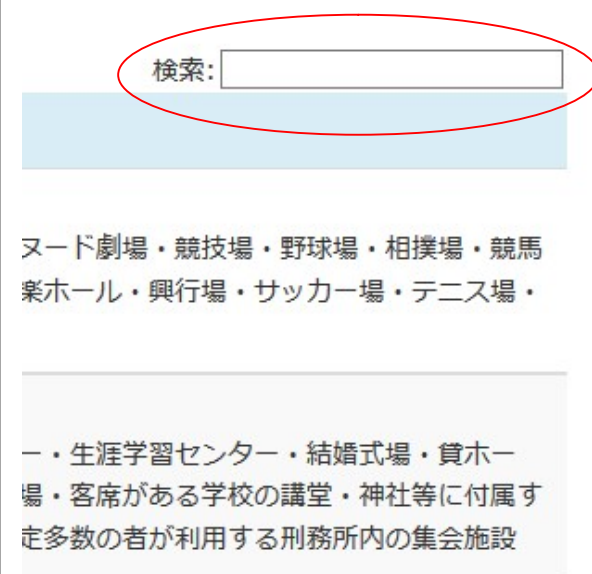


2 調べたい用途から何項か調べる

項	用途・施設名
1項 イ	●客席を有するもの ・劇場・映画館・演芸場・観覧場・寄席・演劇場・競輪場・競艇場・オートレース場・体育館 アイススケート場・各種スポーツ競技場で観戦
1項 ロ	●公衆が集まる施設で客席を有するもの ・公会堂・集会場・文化会館・公民館・地域センター・貸講堂・町内会集会場・市民会館・県民会館 結婚式場・自衛隊員以外を収容する自衛隊駐屯地
2項 イ	●客席接待を伴い、客席が洋式のもの ●カウンター接待は、客席接待に含まれず、 ・キャバレー・カフェー・ナイトクラブ・ソウ ニークラブ・ホストクラブ・キャバクラ・朝 セクシーパブ・スナック・スタンドバー・ガー デンバー
2項 ロ	●娯楽性のある競技等を行う施設 ●フットボールの要素の強い施設（+15項目に該当す

クリックすると定義を確認できます。

3 検索ボックスも使用できます



●プログラム②「速攻！用途判定Ⅱ」の使用方法。「併用住宅」や「複数用途」がある場合に使用

事前準備 ※インターネットに接続されたPC・タブレット・スマホをご用意ください。

・以下の画面は、下記URLで参照できます。

<http://消防設備設計検索.jp>

1 サイト内でプログラムを選択

各種プログラム

- ①速攻！用途判定Ⅰ >
- ②速攻！用途判定Ⅱ（みなし従属） >
- ③検索！消防設備Ⅰ（1項～15項ver） >
- ④検索！消防設備Ⅱ（16項イver） >
- ⑤検索！消防設備Ⅲ（16項ロver） >
- ⑥算定！収容人員 >

2 3つの用途まで入力できます

用途別情報

該当する用途を選択し、各用途ごとに合計面積を入力する

用途A	用途B	用途C
住居	5項口	15項
100 m ²	200 m ²	30 m ²

開始

リセット

入力したら、「開始」ボタンをクリック

3 建物全体で何項か結果が出力されます

「非特定用途」+「非特定用途」の複合用途（16項ロ）です【別表用途合計が住居より大きいため、住居は当該他の用途とみなされます】

この建物は全体で「非特定の複合用途」（16項ロ）であることが分かります

●プログラム③「検索！消防設備Ⅰ」の使用手法。

単一用途の建物に必要な設備の調べ方

事前準備 ※インターネットに接続されたPC・タブレット・スマホをご用意ください。

・以下の画面は、下記URLで参照できます。

<http://消防設備設計検索.jp>

1 サイト内でプログラムを選択

各種プログラム

- ①速攻！用途判定Ⅰ
- ②速攻！用途判定Ⅱ (みなし従属)
- ③検索！消防設備Ⅰ (1項～15項ver)
- ④検索！消防設備Ⅱ (16項イver)
- ⑤検索！消防設備Ⅲ (16項ロver)
- ⑥算定！収容人員

2 建物の情報を入力する。

建物情報			
項	構造	種別	
4項	耐火構造	耐火建築物	
内装制限		直通階段	敷地面積
有		2以上直通階段	1000 m ²
地上階数	地下階数	建物高さ	
3階	1階	13 m	
階別情報			
階	床面積	収容人員	無窓階
3F	200 m ²	30人	<input type="checkbox"/> 無窓階
■PH			
2F	200 m ²	30人	<input type="checkbox"/> 無窓階
■PH			
1F	200 m ²	30人	<input type="checkbox"/> 無窓階
B1	50 m ²	3人	

開始

入力したら、「開始」ボタンをクリック

言葉の意味が分からないものがある場合は、クリックすると解説が見れます。

3 結果が根拠付で出力されます。

設備名称等 (根拠法令)	基本事項
消火器具 (消令第10条)	●棟義務有り【延150m ² 以上】(令10-1-2) ●階義務有り【地階・無窓階・3階以上の階で床50m ² 以上】(令10-1-5)
屋内消火栓設備 (消令第11条)	棟義務無し【延700m ² 未満】
スプリンクラー設備 (消令第12条)	棟義務無し【延3000m ² 未満】
特殊消火設備 (消令第13条)	義務無し【特殊条件に非該当】
屋外消火栓設備 (消令第19条)	階義務無し【1、2階の合計床3000m ² 未満】
自動火災報知設備 (消令第21条)	●棟義務有り【延300m ² 以上】(令21-1-3)
ガス漏れ火災警報設備 (消令第21条の2)	義務無し【地階合計1000m ² 未満】
漏電火災警報器	

●印が義務有。根拠や代替設備などが表示されます。

●プログラム④⑤「検索！消防設備ⅡⅢ」の使用方法。 複合用途の建物に必要な設備の調べ方

事前準備 ※インターネットに接続されたPC・タブレット・スマホをご用意ください。

・以下の画面は、下記URLで参照できます。

<http://消防設備設計検索.jp>

1 サイト内でプログラムを選択

各種プログラム

- ①速攻！用途判定Ⅰ >
- ②速攻！用途判定Ⅱ（みなし従属） >
- ③検索！消防設備Ⅰ（1項～15項ver） >
- ④検索！消防設備Ⅱ（16項イver） >**
- ⑤検索！消防設備Ⅲ（16項ロver） >
- ⑥算定！収容人員 >

④は特定の複合用途
 ⑤は非特定の複合用途
 どちらか分からない場合は①や②のプログラムで確認できます。

2 建物の情報を入力する。

建物（棟）情報		
構造	種別	直通階段
耐火構造	耐火建築物	2以上直通階段
地上階数	地下階数	建物高さ
2 階	0 階	10 m
敷地面積		
1000 m ²		
階別・用途別情報		
2階（無窓階の場合チェック■）		
用途A	用途B	用途C
15項	▼項を選択してください	▼項を選択してください
300 m ²	0 m ²	0 m ²
30 人	0 人	0 人
1階（無窓階の場合チェック■）		
用途A	用途B	用途C
15項	3項ロ	4項
100 m ²	100 m ²	100 m ²
10 人	30 人	20 人

各階3つの用途まで選択できます。
 該当しない部分は未入力で問題ありません。

3 結果が部分別で詳細に出力されます。

結果その1【設備別】→16項イ

設備名称等 (根拠法令)	基本事項
消火器具 (消令第10条)	●(用途別規制)義務有り(令10-1,令9)
屋内消火柱設備 (消令第11条)	

結果その2【部分別】

建物全体	
建物全体に必要な	自警誘
用途全体	
用途全体に必要な	消(15項) 警(4項)
階別	

複合用途の場合、結果が複雑なので「部分別」として細かく結果が表示されます。

●プログラム⑥「算定！収容人員」の使用法。 建物の収容人員の調べ方

事前準備 ※インターネットに接続されたPC・タブレット・スマホをご用意ください。

・以下の画面は、下記URLで参照できます。

<http://消防設備設計検索.jp>

1 サイト内でプログラムを選択

各種プログラム

- ①速攻！用途判定Ⅰ >
- ②速攻！用途判定Ⅱ（みなし従属） >
- ③検索！消防設備Ⅰ（1項～15項ver） >
- ④検索！消防設備Ⅱ（16項イver） >
- ⑤検索！消防設備Ⅲ（16項ロver） >
- ⑥算定！収容人員 >

2 算定したい用途を選び、入力する。

[1項で算定する](#) [算定解説](#)

[2項で算定する（遊技場）](#) [算定解説](#)

[2項で算定する（その他）](#) [算定解説](#)

[3項で算定する](#) [算定解説](#)

[4項で算定する](#) [算定解説](#)

階の収容人員 その1	
①階の従業員数 ※執務用のいす等で判断する	50 人
②階の従業員スペースの床面積 ※食堂、休憩所、会議室などを全て合算（廊下、階段、使所は除く）	100 m ²
③階の固定いす席数（客用） ※移動いすは③で算定	5 席
④階の長いすの長さ（客用） ※階の全ての長いすの長さを合算	0 m
⑤階のその他の客席に使用する部分の床面積（客用）	30 m ²
開始	

3 合計人員が出力されます。

階の収容人員結果

階の収容人員結果	
結果1	①階の従業員数 [50] 人
	②階の従業員スペースの床面積 [100] m ² ⇒ [33] 人
	③階の固定いす席数（客用） [5] 席⇒ [5] 人
	④階の長いすの長さ（客用） [0] m⇒ [0] 人
	⑤階のその他の客席に使用する部分の床面積（客用） [30] m ² ⇒ [10] 人
[98] 人	

算定する「項」を選び、該当する人員などを入力後、「開始」をクリックする。